

2017年2月 SLA イノベーション WG 活動報告

2017年3月5日

日本クラウドセキュリティアライアンス

有田 仁

1. 国内活動

1.1. 医療情報管理 WG×ビッグデータ WG×SLA イノベーション WG 共催勉強会（調整中）

- ・開催時期：2017年3月→ 定例化を目標
- ・開催場所：関西エリア（大阪）
- ・テーマ（仮）：
 - 欧州事例に学ぶ医療ビッグデータのセキュリティ・プライバシー対策
 - 医療分野におけるブロックチェーン関連
 - EU フレームワークにおける SLA-Ready プロジェクトと CSA-EMEA の参画内容、標準規格、ドキュメント類の紹介、及び SLA イノベーション WG の取り組み予定説明（EC ガイドラインの解説、日本語訳等、また国内外の中小企業、商工団体、教育・研究機関、公的機関等との連携活動）

1.2. 大阪工業大学 ロボティクス&デザインセンターとの連携アプローチ（フォロー後、静観）

- ・訪問日時：2017年2月1日（水）13時～14時30分
- ・訪問場所：大阪工業大学 大宮キャンパス7号館 学長室
- ・出席者：ロボティクス&デザインセンター長 本田幸夫教授
学長室 梅田キャンパス開設準備室 北垣様、油井様
CSA ジャパン 笹原さん、有田
- ・概要：本年4月、梅田新キャンパス（OIT 梅田タワー）に開設（移転）されるロボティクス&デザインセンター（RDC）に照準。本田教授の係るデンマーク医療介護ロボットのイノベーション取組事例や、自動運転システムの運用レギュレーション事例で接点。IoT データ収集やクラウド利用に伴う、情報セキュリティ課題や個人データ保護に関してディスカッション。EU におけるこれらルールの策定状況（全体デザイン）について提示し、ガイドライン提供や運用段階でのリスク管理、クラウド SLA の必要性をアプローチ。RDC による梅田地区での実証実験（研究会）の立ち上げ計

画もヒアリング。今後の連携に向け前向きなご意向を得ることができ、連携会員化についても打診済。

1.3. 京都女子大学との連携活動（笹原さん連携）

- ・学内に IoT コミュニティとして「Universal Robot Club」を立ち上げ。

2. グローバル活動

2.1. New guidelines to help EU businesses use the Cloud（調整中）

「Cloud Service Level Agreement Standardisation Guidelines」（2014年6月24日公開）

<https://ec.europa.eu/digital-single-market/en/news/cloud-service-level-agreement-standardisation-guidelines>

・概要：本ドキュメントは、欧州委員会（EC）によるクラウド SLA の標準化に関する最も基本的なガイドラインであり、CSA-EMEA から Catteddu Daniele と Luna Jesus が草案執筆者として参画。本ガイドラインを基に今後、国内 SME 向けの日本語訳版や解説書の作成、また ISO/IEC 19086 (Information technology -- Cloud computing -- Service level agreement (SLA) framework -- Part 1: Overview and concepts)とのマッピングなどへの着手を検討しています。

以上